

第7学年 ワークの使い方と休校中の課題

教科	ワーク等の使い方	休校中の課題	提出日
国語	<p>○ワークブック 1年</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業中に学習した内容を復習するために使用します。 基本的に、ワークに書き込みます。何度も問題を解きたい生徒は、ノートに解いても構いません。その際に使用するノートの指定はありません。 	<p>○漢字プリント (辞書で調べて毎日少しずついいに書いておきましょう。) 例：1日に5問など</p> <p>○興味のある本を選んで読書に励んでください。(教科書もおすすめです。)</p> <p>※ワークは授業で学習した内容を復習するためのものなので、休校中に進める必要はありません。</p>	<p>○臨時休校明け (詳しい日にちについては、授業が始まってから連絡します。)</p> <p>○ノートは、全員分まとめて購入しますので、<u>急いで買いに走る必要はありません。</u> (すでに買った人は2冊目で使用したり自主学習に使用して下さい。)</p>
社会	<p>○ワーク 誰のものか把握できるようにワーク本体と付属されているワークノートの裏表に必ず記名してください。 本年度は、付属されているワークノートを提出することになります。なくさないようにしてください。 ワークノートに予習、ワーク本体もしくは自分で用意したノートに復習する形で進めるとベストです。</p>	<p>○教科書を用いて、ワークを進めてください。(ワークノートに書き込みましょう。後日提出します) 早めに取り組み、提出前に慌てないようにしましょう。</p>	<p>○臨時休校明けに提出するものではありません。</p>
数学	<p>○ワークブック 1年</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業中に学習した内容を復習するために使用します。 基本的に、ワークに書き込みます。何度も問題を解きたい生徒は、ノートに解いても構いません。その際に使用するノートの指定はありません。 	<p>○プリント 2枚 (教科書の P.306 を見て、自分で答え合わせもしてください。)</p> <p>※ワークは授業で学習した内容を復習するためのものなので、休校中に進める必要はありません。</p>	<p>○臨時休校明け (詳しい日にちについては、授業が始まってから連絡します。)</p>
理科	<p>○よくわかる 理科の学習1 (ワーク)</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習した内容を身につけるため、何度も繰り返し解きます。 ワーク付属の「学習ノートに」答えを書き込みます。2回目以降は自分のノートなどを使い、<u>ワークには答えを書き込まないようにしてください。</u> ※入荷の状況によっては「学習ノート」は休校明けの配付となります。 	<p>○教科書を用いて予習しながら、ワークを進めてください。 P 2～P 8 が休業中の課題です。 今回は、「学習ノート」または、各自のノートやルーズリーフに解き、提出してもかまいません。 ※以降のページも自分で進めてかまいません。 ※授業では教科書の最初から学習します。</p>	<p>○臨時休校明け (詳しい日にちについては、授業が始まってから連絡します。)</p>
英語	<p>○New Repeat (ニューリピートワーク)</p> <ul style="list-style-type: none"> 主に授業中学習した内容の復習用として使います。 <p>○Let's Enjoy “Bingo”</p> <ul style="list-style-type: none"> アルファベットの綴り方を練習することに使います。 ビンゴゲームをしながら、英単語を聞き取ったり、正確に書いたりする力をつけるために使います。 	<p>※New Repeat は、入荷の関係で授業が始まってから配付します。授業の進行に合わせて進めていきます。</p> <p>※Let's Enjoy “Bingo” について p.10 ～ p.25 をやっておきましょう。説明書を読んで、書き順に注意しながら丁寧に記入することが大切です。</p>	<p>○提出物は、Let's Enjoy Bingoのみです。<u>臨時休業明けの最初の授業日に持参してください。</u></p> <p>○ノートは、一括購入しますので、<u>急いで買いに走る必要はありません。</u></p>

第7学年 ワークの使い方と休校中の課題

教科	ワーク等の使い方	休校中の課題	提出日
技術	<p>○技術・家庭ノート 技術分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業は実習がメインとなりますが、実習に必要な知識を深めるために使用します。 ・基本的にワークに書き込みます。答えも配付するので答え合わせは各自で行います。 ・3年間同じワークを使用します。無くさないよう管理をしましょう。 	<p>【技術】ワーク P18 ～ 19 の①(1)～(6)</p> <p>◎立体の描き方は、教科書 P44 ～ P45 に載っています。</p> <p>※ワークに載っている問題と同じものを定期テストに出題します。あきらめしないで、自分で描き切れるように何度もチャレンジしましょう。</p> <p>※テストもワーク課題も『製図を正確に描くことができたかどうか』の視点で評価します。</p>	<p>○臨時休校明け (詳しい日にちについては、授業が始まってから連絡します。)</p>
美術	<p>○ワークは特になし</p>	<p>○課題ワークシート 2枚</p> <p>1 【立体を描こう】ワークシート 立方体と円柱を陰影をつけて立体感を出して描きます。</p> <p>2 【ものをとらえる】ワークシート 身近なものをスケッチします。</p>	<p>○臨時休校明け (詳しい日にちについては、授業が始まってから連絡します。)</p>